

# 第12回CN専門委員会 次第

1. **進捗確認**【資料配布】
  - ・CN専用ホームページ開設（予定）のお知らせ
2. ※**CJPTとの連携**【報告】
3. **2020年度 CO2排出量実績と概算値**【報告】
4. **7/26 5団体事務局会合**【報告】
5. **5団体連携活動**【報告】

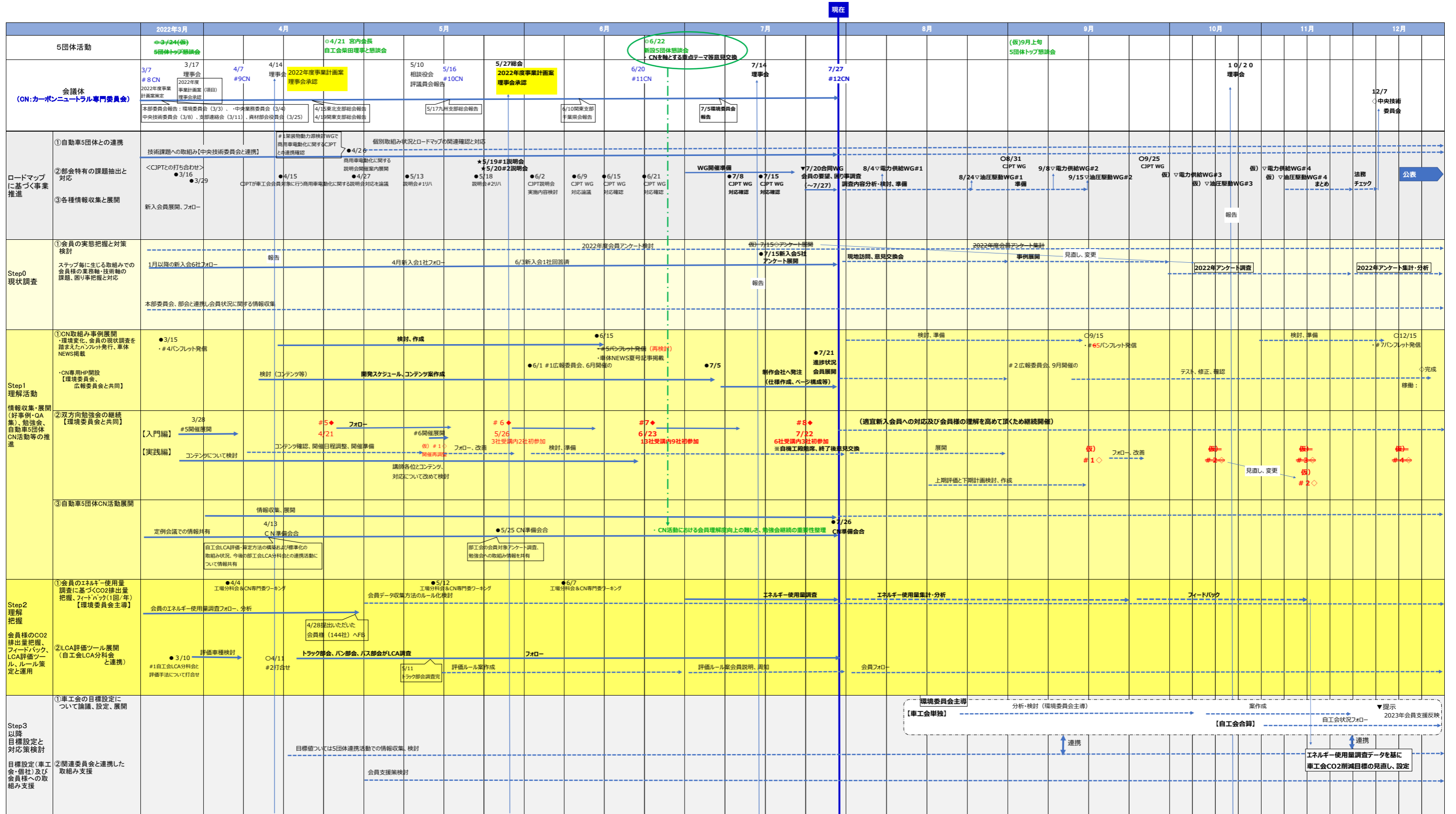
※CJPT : Commercial Japan Partnership Technologies

2022.7.27  
車工会 事務局

## カーボンニュートラル専門委員会 出欠一覧：第12回 2022年7月27日(水)13:30~15:00

	委員会役職	氏名	所属部会・役職	会社名	役職	出欠
1	委員長	宮内 一公	(会長)	トヨタ自動車東日本(株)	取締役社長	WEB
2	副委員長	田沼 勝之	(副会長)	新明和工業(株)	取締役 専務執行役員	WEB
3		矢野 彰一	(副会長、バン、九州支部長)	(株)矢野特殊自動車	取締役社長	WEB
		柴田 和典	—	(株)矢野特殊自動車	取締役 品質保証部長	WEB
4		吉村 東彦	小型部会長	日産車体(株)	取締役社長	WEB
5	委員	増井 敬二	(副会長)	トヨタ車体(株)	取締役社長	WEB
		鈴木 真也	—	トヨタ車体(株)	経営企画部 担当社員	WEB
6		布原 達也	特装部会長	極東開発工業(株)	取締役社長	代理・WEB
		代) 原田 修	—	極東開発工業(株)	技術本部営業技術部 部長	
7		森 孝義	特種部会長	中京車体工業(株)	取締役社長	WEB
8		山田 和典	トラック部会長	山田車体工業(株)	取締役社長	WEB
9		田中 俊和	バン部会長	日本フルハーフ(株)	代表取締役社長	WEB
10		辻 和弘	トレーラ部会長	東邦車輛(株)	取締役社長	代理・WEB
		代) 亀田 輝仁	—	東邦車輛(株)	常務取締役	
11		石川 哲朗	バス部会長	ジェイ・バス(株)	取締役社長	WEB
12		小澤 賢記	資材部会長	ゴールドキング(株)	取締役社長	WEB
13	アドバイザー	木村 昌平	(相談役)	車体工業会	相談役	WEB
14	事務局	鈴木 良規		トヨタ自動車東日本(株)	第1開発領域長	WEB
15		富澤 浩紀		トヨタ自動車東日本(株)	プロジェクトリーダー	WEB
16		岡本 哲		トヨタ自動車東日本(株)	総務部 総合企画G GM	WEB
17		松井 賢一		トヨタ自動車東日本(株)	PE・環境部 部長	WEB
18		吉田 量年		車体工業会	専務理事	WEB
19		小森 啓行		車体工業会	業務部長	WEB
20		森田 敦次		車体工業会	業務部 次長	WEB
	委員会出席	長田 善彦	CJPT	新明和工業(株)	品質保証部 部長	WEB

# カーボンニュートラル取組み(2022年3月~2022年12月)



2022年7月21日

日本自動車車体工業会  
会員各位

一般社団法人日本自動車車体工業会  
CN 専門委員会 事務局

## カーボンニュートラル (CN) 専用ホームページ開設 (予定) のお知らせ

前略

平素より車体工業会の活動にご協力賜りまことに有難うございます。

標記の件、CN に向けた当会の取組みは、2021 年 7 月に CN 専門委員会を立ち上げ、8 月より活動を開始し、アンケートによる現状調査 (STEP0)、理解活動 (STEP1)、理解把握 (STEP2)、目標設定と対応策検討 (STEP3) と段階を踏んで進めております。

これまで、CN に関する活動状況や各種情報提供は、「車体 NEWS」、パンフレット配布等で行ってまいりました。このたび、更に迅速に、そして分かり易くこれらの活動状況や官公庁、他団体の有益な情報を会員の皆様と共有し、カーボンニュートラルの諸活動にお役立ていただくために、「CN 専用ホームページ」を開設することと致しました。第 11 回 CN 専門委員会 (6/20 開催) で掲載するコンテンツを決定し、2023 年 1 月の公開を目指してホームページ制作会社と作成をスタートしております。

CN に関する有益な情報を各委員会 (中央技術委員会、環境委員会、中央業務委員会、広報委員会) の皆様のご協力を得ながら掲載して参りますので、開設時にはご活用のほどよろしくお願い致します。

現時点で掲載予定のコンテンツを別紙にてお知らせ致しますので、ご意見、ご要望等ございましたら、事務局までお知らせください。

草々

記

- HP 公開予定日 : 2023 年 1 月
- HP 掲載要望やご意見連絡先  
車体工業会 CN 専門委員会事務局 小森 ([komori@jabia.or.jp](mailto:komori@jabia.or.jp)) 宛  
Eメールにてお知らせ下さい。

以上

【本件問合せ先】

日本自動車車体工業会 CN 専門委員会事務局 小森  
TEL 03 (3578) 1681

# カーボンニュートラル ( CN ) 専用ホームページ掲載コンテンツ

サイト TOP

## カーボンニュートラル INDEX

・新着情報

・各ページに案内するバナー

追加・修正した最新情報のお知らせ

### CNの基礎知識

- ・CNとは
- ・車工会アンケート結果
- ・CN専門委員会情報
- ・Q & A集
- ・講演会、勉強会の開催情報
- ・講演会・勉強会資料
- ・パンフレット
- ・車体NEWS記事
- ・官公庁情報

### CN専門委員会情報

- ・専門委員会資料

### CO2排出量データ削減目標

- ・エネルギー使用量集約結果 (会員企業の現状)
- ・削減目標

### 生産領域の省エネ情報

会員企業の取組み事例

工程訪問支援事例

省エネ設備導入事例

官公庁情報・他団体情報

### グリーンエネルギー情報

- ・会員企業の取組み事例
- ・自動車 5 団体情報

### 商用車電動化情報

- ・CJPT 情報
- ・WG情報

### LCA情報

- ・JTP情報
- ・その他

### 官公庁情報

- ・基礎知識
- ・生産領域の省エネ情報
- ・省エネ設備情報
- ・グリーンエネルギー情報
- ・電動化情報
- ・LCA 情報
- ・補助金・助成金・税制優遇情報

### お問い合わせ

よくあるご質問

# 2020年度 CO<sub>2</sub>排出量

## 実績と概算値

2022年7月27日  
CN専門委員会 事務局

# 1. 排出量実績 (第10回CN専門委員会での報告値)

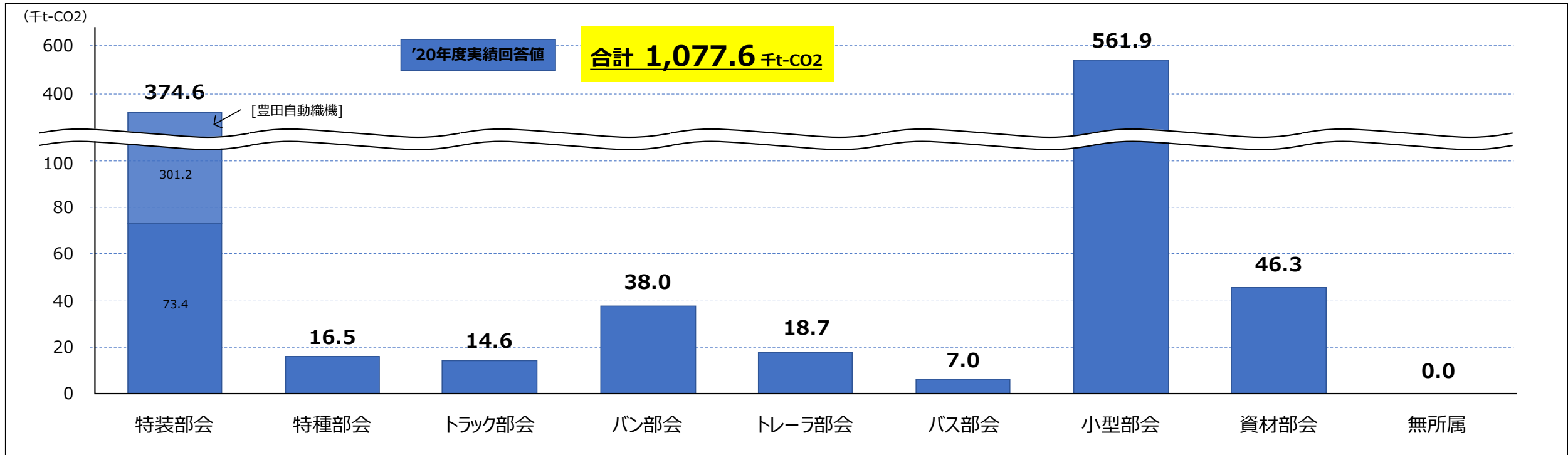
調査対象 : 2021年度調査時の会員305社の内、エネルギー使用量を把握済の会員へ依頼

正会員 : 169社 (34社対象外)

準会員 : 27社 (75社対象外) ※正会員に関係が深い会員を選定

**合計 196社 → 回答 144社**

調査期間 : 2021年12月～2022年3月



## 2. 全会員排出量 概算値

算出対象 : 2021年度調査時点の会員

正会員 : 201社 (2社対象外)

準会員 : 27社 (75社対象外) ※正会員に関係が深い会員を選定

実績データ・資本金・売上高※・従業員数※のデータを基に、重回帰分析で概算値を算出  
(売上高・従業員数は、車工会関連部門)

合計 228社 → 実績 144社 + 概算 84社

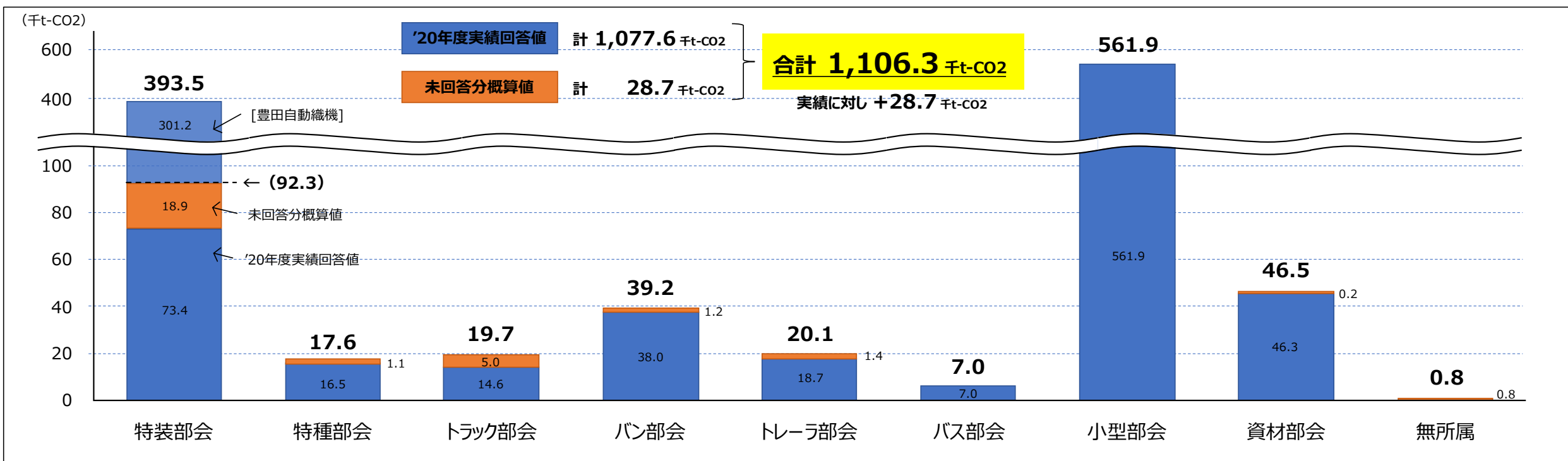
### 部会別CO2排出量

※1社退会

※1社対象外

部会 (対象会員数)	特装部会 (40社)	特種部会 (51社/52社)	トラック部会 (74社)	バン部会 (23社)	トレーラ部会 (6社)	バス部会 (1社)	小型部会 (6社)	資材部会 (27社/102社)	無所属 (2社/3社)	合計 (t-CO2/年)
'20年度実績回答	25社 豊田自動織機→ 374,628.4 (301,236.4)	35社 16,494.4	30社 14,638.4	18社 37,956.7	4社 18,692.5	1社 6,996.5	6社 561,945.3	26社 46,275.2	- 0.0	1,077,627.4
未回答分概算値	15社 18,938.8	16社 1,128.8	44社 5,027.4	5社 1,199.6	2社 1,415.0	- 0.0	- 0.0	1社 182.7	2社 763.6	28,655.8
合計	393,567.2	17,623.2	19,665.8	39,156.3	20,107.4	6,996.5	561,945.3	46,457.8	763.6	1,106,283.2
量産・資材除く合計	92,330.8	17,623.2	19,665.8	39,156.3	20,107.4	6,996.5	0.0	0.0	763.6	196,643.6

※各部会の所属会員数は、2021年度調査時点（'22/3）の所属で、複数所属の場合は生産台数の多い部会とする



# 7/26 5団体事務局会合

- 7/26開催の「5団体事務局会合」について報告する。

2022.7.27  
事務局

# 1. 議案

- 1) 5団体懇談会 (6/22開催) の共有 ⇒ 7/14理事会報告済
- 2) 岸田総理との懇談会概要 (6/17開催) の共有 ⇒ 7/14理事会報告済
- 3) **5団体 (1) SC全体の5団体取組みマップ案、(2) 活動推進スケジュール案**
- 4) CN対応
  - (1) 進捗報告 (各団体) ⇒ 各団体一部時期ずれはあるものの概ね計画通り進捗
  - (2) **CN講師同士のコミュニケーションに関する提案 (車工会)**
  - (3) その他・・・**中小企業のCNに向けた支援機関ネットワーク会議 (7/29開催案内)**
- 5) 富士モータースポーツミュージアム内覧会の案内 (トヨタ自動車)



## 2. 概要

### 1-3) 5団体 (1) 取組みマップ案、(2) 活動推進スケジュール案

#### (1) サプライチェーン (SC) 全体のCNに向けた5団体の取組みマップ案

- CNに向けたSCの業界全体の大きな課題4つを確認

- ① CO2見える化
- ② CO2減らす化
- ③ 投資
- ④ 業態転換

5団体活動の中心点を、自動車業界で統一の基準・活動を作る活動 (自工会)  
統一の基準をSC全体に浸透させる活動 (部工会)

その他部品・素材の企業を含め「統一の基準・活動」の仲間づくり

#### (2) 活動推進スケジュール案

	7月	8月	9月	10月
外部会議				経団連モビリティ委員会 → 政府主導モビリティ会議
自工会	総合政策委員会 正副会長会議	総合政策委員会	総合政策委員会	9/15理事会/会見
5団体	7/26 ▼会合 5団体活動の方針共有と合意	▽会合 (仮) 自工会案を部工会内検討	5団体活動の方針共有と合意 トップ懇談会 (仮)	自動車5団体のCN実現に向けた統一基準作り、活動の連携について自工会の理事会確認後、経団連「モビリティ委員会」⇒政府主導「モビリティ」会議で紹介予定
調達	LCA分解と調整 SC委員会共有			

車工会対応案：自工会、部工会が連携し検討、確認した内容の車工会CN対応への展開、推進

## 2. 概要

### 1-4) CN対応 (2) **CN講師同士のコミュニケーションに関する提案** (車工会)

- 5団体CN勉強会での「CN講師同士のコミュニケーション」について説明し、提案
  1. 車工会の勉強会に対する考え方
  2. 入門編勉強会の状況
  3. 入門編勉強会受講者の状況
  4. 勉強会の評価と課題
  5. 今後の取組み

◆ **中小・中堅企業支援として、勉強会（相互コミュニケーション）はCN達成に向け、他団体との情報共有、環境変化に対応し、適切な見直しを行い、5団体が連携した活動を継続していくことで「誰一人取り残さない」に繋げる**

### **「勉強会講師のコミュニケーション」機会を提案**

- ◆ **確認事項**
  - ・ **提案内容は了承。**
  - ・ **具体的論議に際し、各団体の状況を収集、整理を行う。** (担当 車工会)
  - ・ **次回会合は、8月8日週で調整。** (担当 自工会)

## 2. 概要

### 1-4) CN対応 4) CN対応

### (3) その他・・・中小企業のCNに向けた支援機関ネットワーク会議（7/29開催案内）

#### 1. 概要

「中小企業のカーボンニュートラルに向けた支援機関ネットワーク会議」では、支援機関の取組内容の発表や、経済産業省をはじめとする関係省庁の施策説明など、支援機関が中小企業のカーボンニュートラル対応をサポートするにあたって活用できる情報の共有を行う。

また、クリーンエネルギー戦略中間整理に基づき、カーボンニュートラルに向けた支援機関の取組みを「カーボンニュートラル・アクションプラン」して募集しており、7月20日（水）までに登録いただいたアクションプランを第1回登録分として、このネットワーク会議で公表する。

#### 2. 開催概要・プログラム

○日時：2022年7月29日（金曜日） 13:15～15:00

○開催形式：YouTube配信 <https://youtu.be/zR0r0i8XBmo>

○主な対象者：中小企業支援機関（商工会・商工会議所、中小企業組合、商店街組合、金融機関、士業・民間コンサル等）

※記載した支援機関に限らず、**どなたでもご視聴可能**です。 ※参加無料。事前登録不要

①開会挨拶 ②経済産業省による施策説明等（カーボンニュートラル・アクションプラン第1弾公表を含む）

③環境省による施策説明等 ④支援機関による取組内容紹介 ⑤事業者の省エネ・脱炭素化の取組紹介

⑥独立行政法人中小企業基盤整備機構による取組紹介 ⑦閉会挨拶

参考：中小企業のカーボンニュートラルに向けた支援機関ネットワーク会議チラシPDFファイル

<https://www.meti.go.jp/press/2022/07/20220713002/20220713002-a.pdf>

# 5団体連携活動について

- CN対応での5団体連携活動が1年を経過し、今後の連携活動についてご意見を頂く

2022.7.27  
事務局

# 1. 5団体連携活動

観点	活動項目
知識・知見の共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>TEAMSを活用した情報共有</li> <li>セミナー等による情報提供等</li> </ul>
好事例・活動事例	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組事例等の提供(5団体HP等)</li> </ul>
基準・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>独禁法、業界標準化の確認・調整(経産省 等)</li> <li><b>自工会LCA評価・算定方法の構築および標準化</b></li> <li>LCA統一基準の展開・運用の周知</li> <li>上記活動の情報共有と会員展開</li> </ul>
自社のCN化 (工場・設備・生産現場 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>見える化・減らす活動の共有(自)</li> <li><b>①勉強会：OEM各社の取組み、課題認識等の学び合いを共有</b></li> <li>②LCA分科会との情報交換、課題の共有</li> <li>自社のCO2排出量算出(部) ※理解が不十分な中小企業中心</li> <li>活動推進に向けた問題把握・対応(部) ※理解が不十分な中小企業中心</li> <li>自社の目標・アクションP立案・実行(部)</li> <li><b>CN勉強会、問題把握・対応(車)</b></li> <li>サポート必要な企業への支援(短期:5団体)</li> <li>サポート必要な企業への支援(中長期:中小機構)</li> </ul>
SCOPE1,2	
SCのCN化 (上流・下流)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報交換会(自・部)</li> <li>調達部門の実態把握(部)</li> <li>活動項目立案・展開(SCでの見える化・減らす化に向けた調達部門の活動)</li> <li>上記活動の情報共有と会員展開、会員企業の実態把握</li> </ul>
SCOPE3	
新事業創出・事業転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動事例洗い出し・展開</li> <li>新規事業のマッチング検討</li> <li>公的支援制度の洗い出し</li> <li>OEM各社CN計画の纏め</li> </ul>
政策要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治・政府関係スケジュール見える化</li> <li>要請計画立案</li> <li>要請活動</li> </ul>
他業界との連携	
電動化対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>困りごと、課題の整理</li> </ul>

➤ LCAについては、自工会要請に基づき、トラック、バン、バス部会が代表車型に関し情報収集中（トラック部会は回答済）

➤ 車工会は独自にCN勉強会を継続実施中

➤ OEM各社の取組み、課題認識等の学び合いの共有は未実施の状況

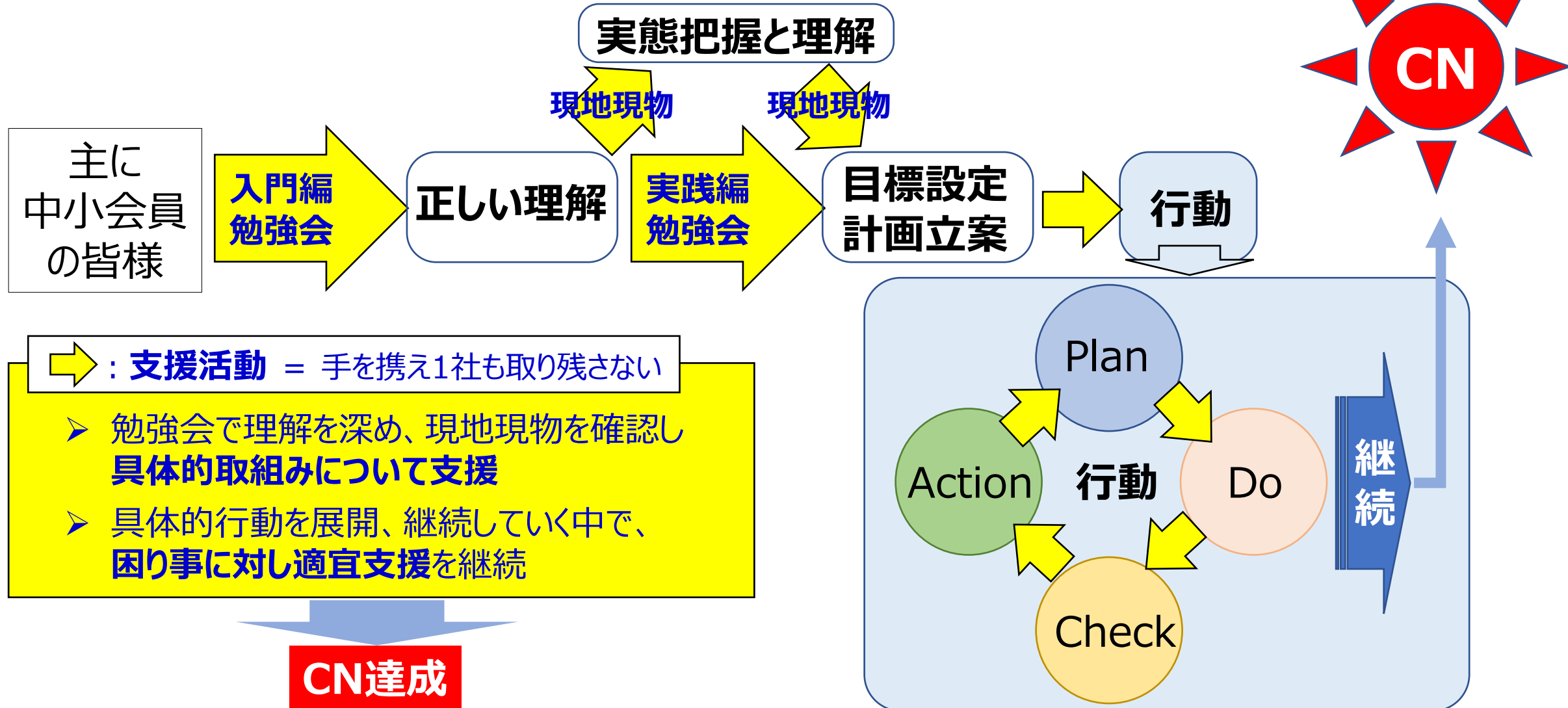
➤ 車工会、自工会との連携は断念

➤ CJPTとの連携をスタート

➤ CJPTとの連携を通じ、冷凍空調工業会とも連携

## 2. CN対応における課題と取組みの考え方

- 車工会活動、5団体活動ともに、「CNの正しい理解」の継続
- 中小企業の実態把握と理解



### 3. 5団体連携活動

#### 1) 自工会豊田会長コメント (2021.6.3)

カーボンニュートラルに必要なことは、数値目標や規制を掲げるだけではなく、**何としてもカーボンニュートラルを実現するという意志と情熱と行動**だと思っています。**私たちはみんなで一緒に強くなってきた産業**です。

中小・零細と言われる数多くの企業には、日本のもの作りを支える人材がいて、まだ日の目を見ていない優れた技術がたくさんあります。**私たちは誰一人取り残さず**、そしてこれまでの蓄積を活かして、技術の選択肢を広げ、未来につなげていく道を選びたい。

#### 2) 車工会独自活動

車工会内の活動では、**勉強会の継続推進、及び環境委員会と連携した現地現物による会員様の困り事への取組み**を会員様の協力、支援を頂き、愚直に継続推進することでCNに取り組んでいく。



**車工会の活動を、車工会の枠を越えた5団体中小企業にも展開**

## 4. 当会としての5団体連携活動

### 1) 当会活動の特徴を活かした取組み

- 当会は、CN専門委員会を設置し、本部委員会と連携した取組みとして、**勉強会、現地現物での工程支援**を推進
- これらの内、現実的な対応として、これからCNに取り組もうと考えておられる企業にとっては、「**CNを正しく理解**」が重要であり、**当会が実施する勉強会への参加**

### 2) 連携団体案

- 5団体の内、実質中小企業で運営されておられる、**自機工と勉強会を通じ、連携**
- **部工会は、独自の勉強会を計画**されており、**勉強会の内容について連携**させて頂く
- **自販連は、**具体的活動を確認できていないため、それらを見極め対応
- **自工会に対しては、あらためて、中小企業支援活動としての連携、協力を要請**

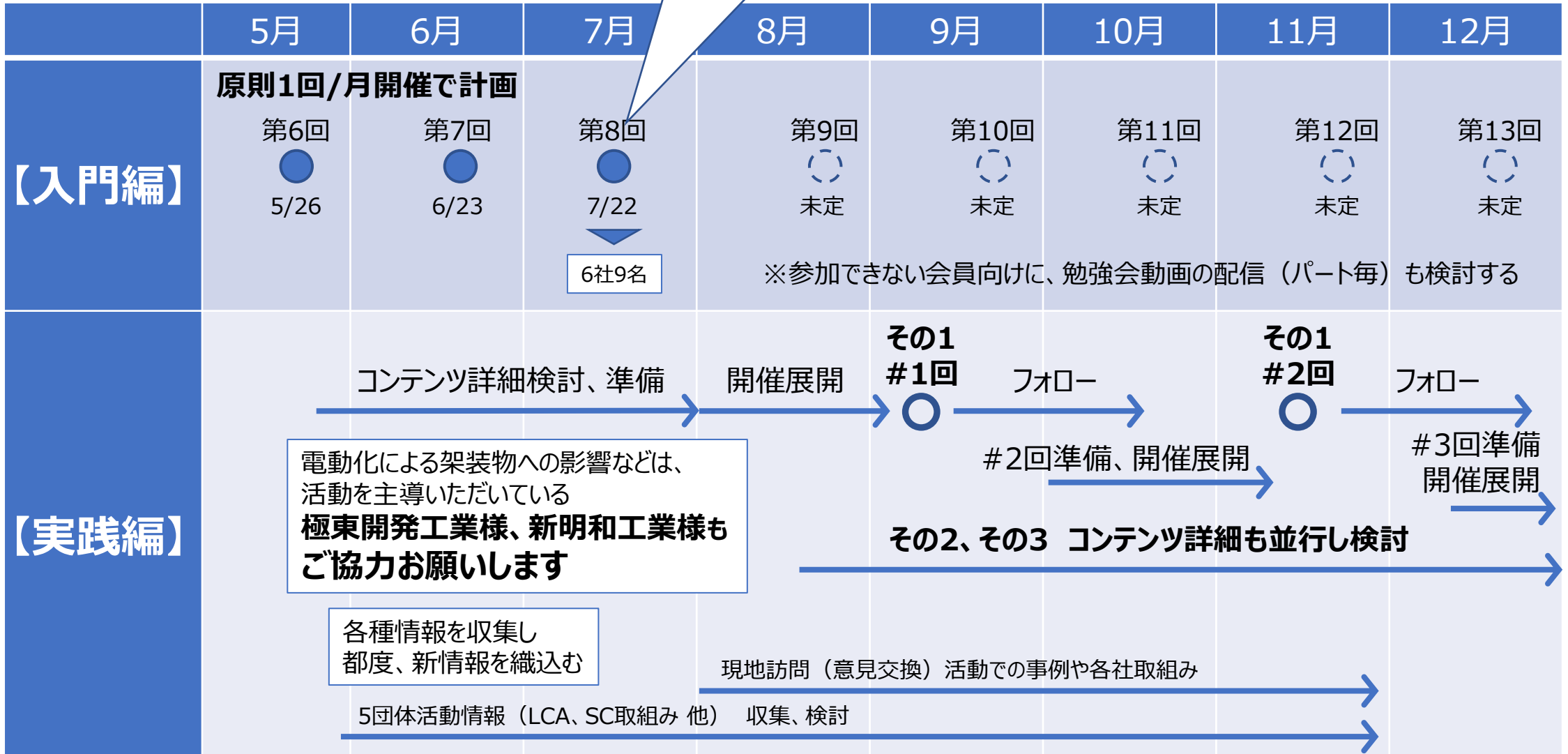
### 3) 今後の進め方

- 自機工との連携について、勉強会への参加に関し、**当会会員と一緒に受講、または個別受講とするか等、当会会員、自機工の考えも確認し、検討。**  
なお、**7/22 #8勉強会に自機工の理事が当会事務所から聴講、意見交換**

# 4. 当社としての5団体連携活動

## 4) 勉強会スケジュール

	入門編	実践編
目的	全会員が カーボンニュートラルを <b>正しく理解する</b> 入門編の継続開催	全会員が カーボンニュートラルを理解し <b>自分事として行動</b> 推進事例、具体的対応事例を 習得し実践につなげる



・自機工 理事聴講  
・勉強会終了後意見交換

6社9名

※参加できない会員向けに、勉強会動画の配信（パート毎）も検討する